

## 福島復興本社における 賠償・除染・復興推進に関する取り組み状況 ～福島復興への責任を果たすために～

○ 今月のトピックス	_____	1	
○ 米国出張報告	_____	2	～ 3
○ 原子力損害賠償の進捗状況	_____	4	～ 6
○ 除染等推進活動状況	_____	7	～ 8
○ 復興推進活動状況	_____	9	～ 11

# 今月のトピックス

## <米国訪問のご報告>



トライシティ(2017年5月4~5日)  
「ハンフォードサイト」周辺地域の方との意見交換



ボストン(2017年5月2日)  
「ハーバード大学」講演・パネルディスカッション



ニューヨーク(2017年5月3日)  
「9.11メモリアル&ミュージアム」訪問

※米国ワシントン州東南部にある核施設群。原子爆弾を開発するマンハッタン計画においてプルトニウムの精製が行われ、現在も除染作業が続けられている

## 今月ご紹介する活動

### <復興推進活動>



川俣町

P10

山木屋小・中学校の物品搬出



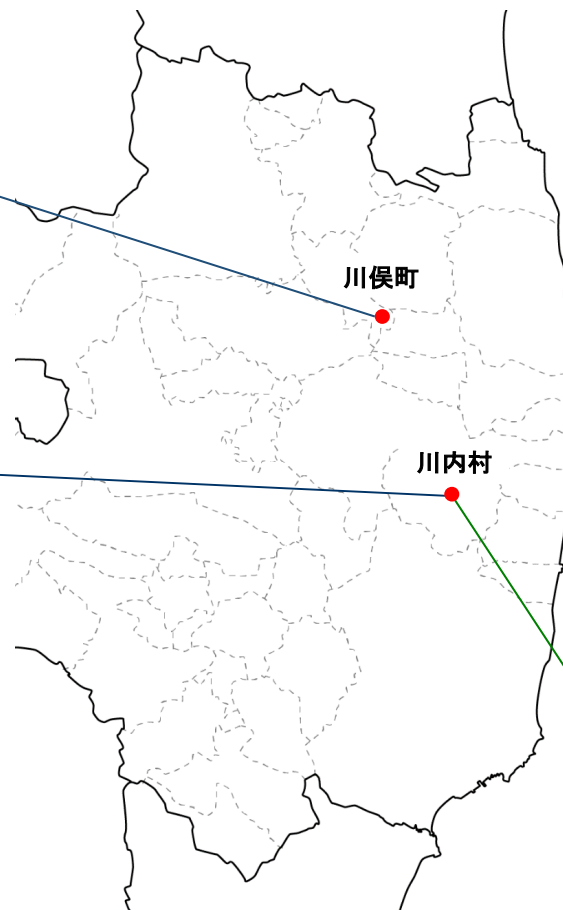
川内村

P11

川内の郷かえるマラソンの運営補助



P11



### <除染等推進活動>



福島県内全域

P8



除去土壌等輸送拡大の実態調査

P8



川内村

P8

川内の郷かえるマラソンの線量測定

## ボストン ハーバード大学訪問 (5/2)

### ■ 講演およびパネルディスカッションへの参加

- ・ハーバード大学より招聘いただき、当社の福島復興に関する取り組みをご説明しました。
- ・パネルディスカッションでは「**福島復興：東京電力の責任と地域コミュニティ**」をテーマに、パネリストの教授や、聴講者の皆さまとの間で活発な議論が交わされました。
- ・聴講者の皆さまには、**福島に対し関心を持っていただいていることに感謝する一方、今後も現状をしっかりと伝えていく活動が必要だ**と感じました。



■ 講演の様子

- ・聴講者からの主なご意見

- 事故を批判するだけでなく、今後どうしていくべきか、建設的に議論していくべき
- 他国の原子力事故事例からの学びや、自主避難者への対応、社員モチベーションアップの施策などを聞きたい
- 今後も、メディアに取り上げられにくいような内容の発信や直接対話を継続して実施してほしい



■ パネルディスカッションの様子

## ニューヨーク訪問 (5/3)

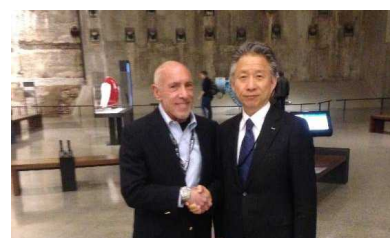
### ■ 9.11メモリアル&ミュージアム見学

- ・2001年に発生した米国同時多発テロを後世に伝えるために作られた9.11メモリアル&ミュージアムを見学しました。
- ・テロの悲惨さ・残酷さを含め、**起こった「事実」をありのままに後世に伝えていこうとする姿勢**には大変感銘を受けました。



■ 見学の様子

～ご案内いただいたウィリアム・ラフ氏 (9.11からの生還者) ～  
“多くの犠牲者を出した**9.11事故を『風化』させないことが重要**  
自分は『語り部』として、**事故の記憶と記録を生涯伝えていく**”



■ ウィリアム・ラフ氏と

# トライシティ訪問(5/4~5)

## ■ハンフォードサイト周辺の地域コミュニティとの意見交換

- ・ 福島イノベーションコースト構想のモデルとして注目されているハンフォードサイト周辺の地域コミュニティの皆さまと地域の復興・経済発展について意見交換しました。
- ・ 名産品となったワイン産業の創設など、地域産業振興策の成功事例や背景について伺い、**福島復興本社の今後の活動に大きな参考**となりました。
- ・ 地域の発展という共通の目標に対し、**20年以上にわたり情熱をもって活動する人が多数いらっしゃる**ことに大きく感銘を受けました。



■ 意見交換の様子



■ 合気道教室での文化交流の様子

## <主な意見交換>

### ○パシフィック・ノースウエスト国立研究所 (PNNL)



- ・ 元々ハンフォードサイトの研究所であり、現在は独立組織となっているPNNLを訪問しました。
- ・ **情報開示や地域住民との対話の重要性、地域発展における役割**についてのお話を伺いました。

### ○トライシティ発展協議会 (TRIDEC)



- ・ 雇用創出と基幹事業への投資により地域の経済発展を目的に設立されたTRIDECを訪問しました。
- ・ 地域の特性に基づく農業振興・投資、原子力関連産業の育成観光開発など、**地域発展の原動力になった取り組みや実績**について学びました。



■ TRIDECの皆さまと

### ○ハンフォードアドバイザリーボード (HAB)

- ・ 連邦法に基づき設置され、住民参画を実現してきた諮問機関HABの議長および委員の皆さまと意見交換しました。
- ・ 20年以上廃炉・除染に住民の方々のご意見を反映させてきた事を伺い、**今後の福島での廃炉作業を進める上でも、大きく参考になる**と感じました。



■ HABスーザン・レックバンド議長と

### ○HAMMER 連邦政府トレーニングセンター



- ・ 国、州政府、地域のニーズを満たす大規模な職業訓練施設を見学しました。
- ・ 多彩な訓練メニューや充実した設備とともに、地域社会への寄与について学びました。

### ○ワシントン州立大学 ワイン科学センター



- ・ 州の名産品となったワイン研究を行うワシントン州立大学ワイン科学センターを見学しました。
- ・ 最初は3名という少人数で研究を開始したとのお話を伺い**情熱を持って粘り強く地域の為に取り組む姿勢の大切さ**を学びました。



■ 大学内で生産されたワイン

# 原子力損害賠償の進捗状況について

## <原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績>

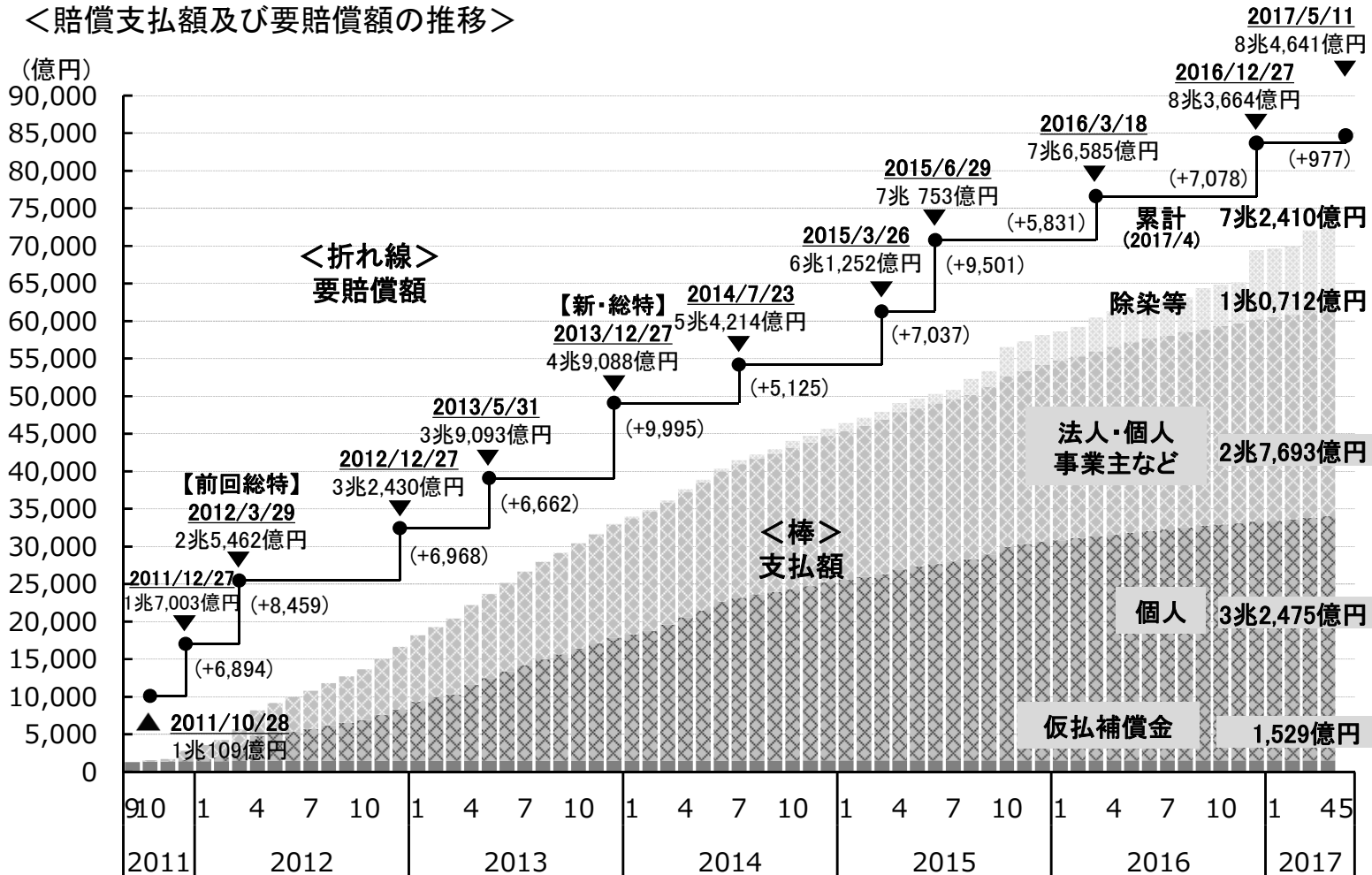
2017年5月19日現在

	個人 ※1	法人・個人 事業主など
<b>ご請求について</b>		
ご請求書受付件数(延べ件数)	約2,317,000件	約451,000件
<b>本賠償の状況について</b>		
本賠償の件数(延べ件数)	約2,192,000件	約385,000件
本賠償の金額 ※2	約3兆2,663億円	約3兆8,517億円
<b>これまでのお支払い金額について</b>		
本賠償の金額 ※2		約7兆1,181億円①
仮払補償金		約1,529億円②
お支払い総額		約7兆2,710億円①+②

※1 個人の自主的避難等に係る損害を含んでおります。

※2 仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでおりません。

## <賠償支払額及び要賠償額の推移>



<賠償項目別の合意金額の状況>

	要賠償額【新々・総特】<A> (5/18変更認定)	合意いただけただ実績 <sup>※1</sup> <B> (2017年4月末現在)
<b>I. 個人の方に係る項目</b>	<b>21,418億円</b>	<b>19,368億円</b>
検査費用等	3,351億円	2,560億円
精神的損害	11,503億円	10,603億円
自主的避難等	3,681億円	3,627億円
就労不能損害	2,881億円	2,577億円
<b>II. 法人・個人事業主の方に係る項目</b>	<b>28,475億円</b>	<b>26,300億円</b>
営業損害	5,022億円	4,923億円
出荷制限指示等による損害及び風評被害	17,080億円	16,443億円
一括賠償（営業損害、風評被害等）	3,168億円	1,700億円
間接損害等その他	3,203億円	3,232億円
<b>III. 共通・その他</b>	<b>18,438億円</b>	<b>16,092億円</b>
財物価値の喪失又は減少等	13,589億円	12,870億円
住居確保損害	4,598億円	2,971億円
福島県民健康管理基金	250億円	250億円
<b>IV. 除染等<sup>※2</sup></b>	<b>16,309億円</b>	<b>10,712億円</b>
<b>合計</b>	<b>84,641億円</b>	<b>72,474億円</b>

※1 振込手続き中の方も含まれるため、これまでのお支払金額とは一致しません。

【B/A 86%】

※2 閣議決定及び放射性物質汚染対処特措法に基づくもの。

<ご案内を開始している主な賠償項目>

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月:個人本賠償 ・精神的損害 ・就労不能等に伴う損害 ・検査費用 ・避難・帰宅・一時立入費用 ・生命・身体的損害等	9月:法人本賠償 ・営業損害 ・出荷制限指示等による損害 ・風評被害 ・間接損害等
2012年	2月:自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月:建物の修復費用等に係る賠償	2月:自動車に対する賠償  12月:償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 家財の賠償 11月:田畑に係る賠償	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償  11月:田畑に係る賠償
2014年	1月:精神的損害(要介護者さま等への増額)に係る賠償 3月:移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償 仏壇の賠償 4月:住居確保に係る費用の賠償 7月:墓石等の修理に係る賠償 9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償	9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月:家財の個別賠償 3月:福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月:墓石等の移転に係る賠償 6月:避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月:避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月:新たな営業損害賠償等
2016年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月 住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	

## 【ADRの対応状況】

2017年5月19日現在

申立件数		22,281件
解決件数	全部和解件数	16,653件
	取下げ件数	1,969件
	打切り件数	1,553件
	却下	1件
現在進行中の件数		2,105件

出典：原子力損害賠償紛争解決センターHPより

※申立件数のうち、当社に送達がなされているのは22,121件(5月19日現在)

※当社に送達された件数は月平均で約237件(平成28年度)

※現在進行中の件数のうち、107件は一部和解が成立している。

※和解金額は約2,775億円

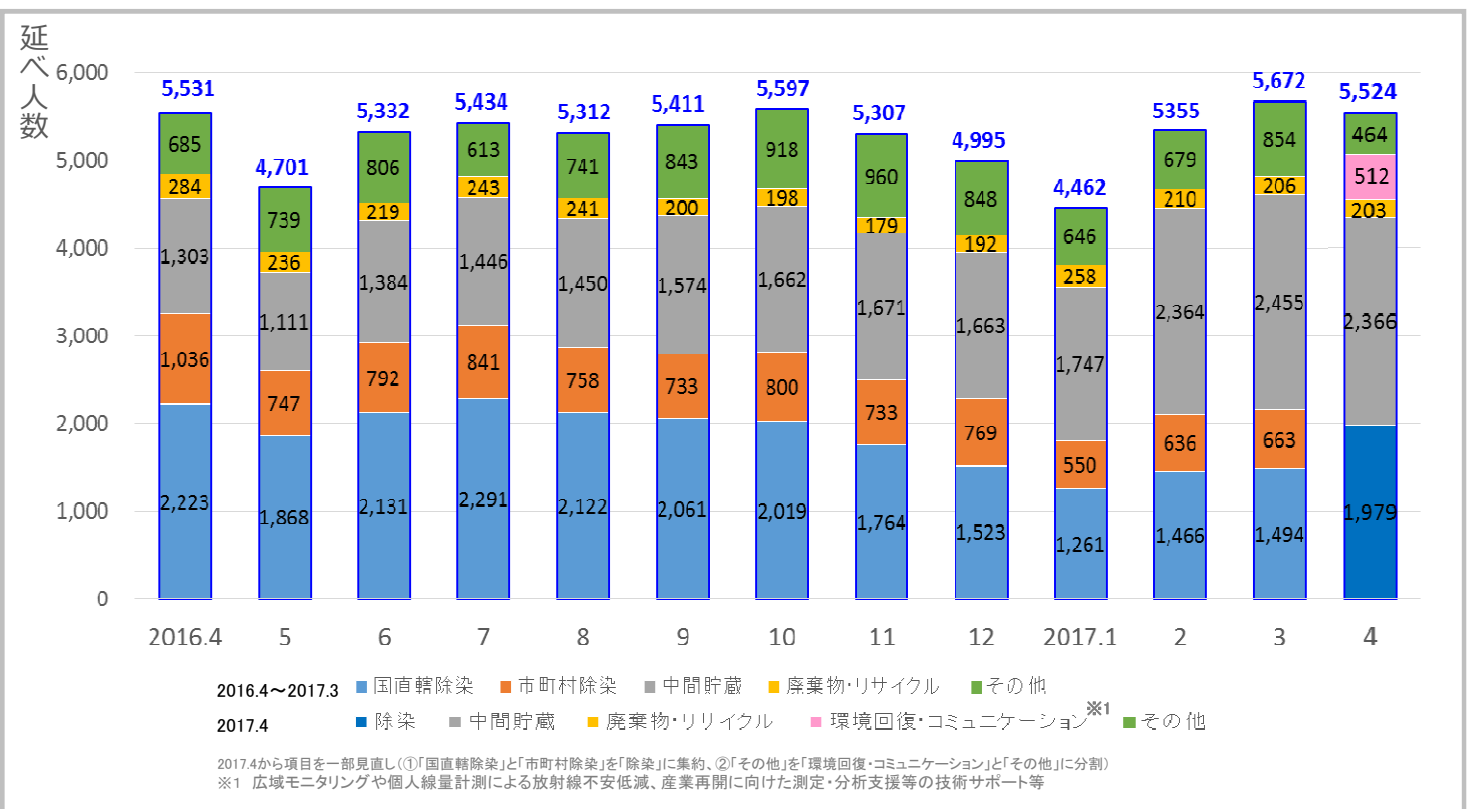
■ 現在までの主な取り組み

- 4月の活動実績は延べ5,524人
- 除染、中間貯蔵、廃棄物・リサイクル、環境回復・コミュニケーションの業務に人的・技術的な対応を実施

[活動実績]

活動内容	延べ人数
除染への対応	1,979人
中間貯蔵への対応	2,366人
廃棄物・リサイクルへの対応	203人
環境回復・コミュニケーションへの対応	512人
その他	464人
4月の活動実績合計	5,524人
復興本社設立(2013年1月)からの累計	228,072人

[月別・活動内容別実績の推移] 2016年4月～2017年4月





## 除去土壌等の輸送量拡大に向けた対応

- 実施時期** 2016年4月～
- 実施場所** 福島県内全域
- 実施人数** 社員 延べ1,317人
- 実施内容** 環境省からの要請による、仮置場から中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送量拡大に向けた、技術検討・展開実態調査※  
※運搬時の遮水対策や保管容器への効率的な収納方法など



荷台遮水対策の実施状況確認



保管容器内収納状態の確認

## 「川内の郷かえるマラソン」開催に向けたモニタリングへの対応

- 実施時期** 2017年 3月24日、31日、（マラソン開催日4月30日）
- 実施場所** 川内村
- 実施人数** 社員 延べ8人
- 実施内容** 川内村からの要請により、「第2回川内の郷かえるマラソン」の開催に向け、各マラソンコースにおける個人線量計による線量および、歩行モニタリングによる空間線量率を測定

＜参考＞ハーフマラソンコース測定結果

- ・ 個人線量測定結果：約0.469 $\mu$ Sv※
- ・ 空間線量率測定結果：0.05～0.38 $\mu$ Sv/h

※徒歩で要した時間（4時間）で評価



歩行モニタリングの状況



個人線量率のマップ  
(ハーフマラソンコース)

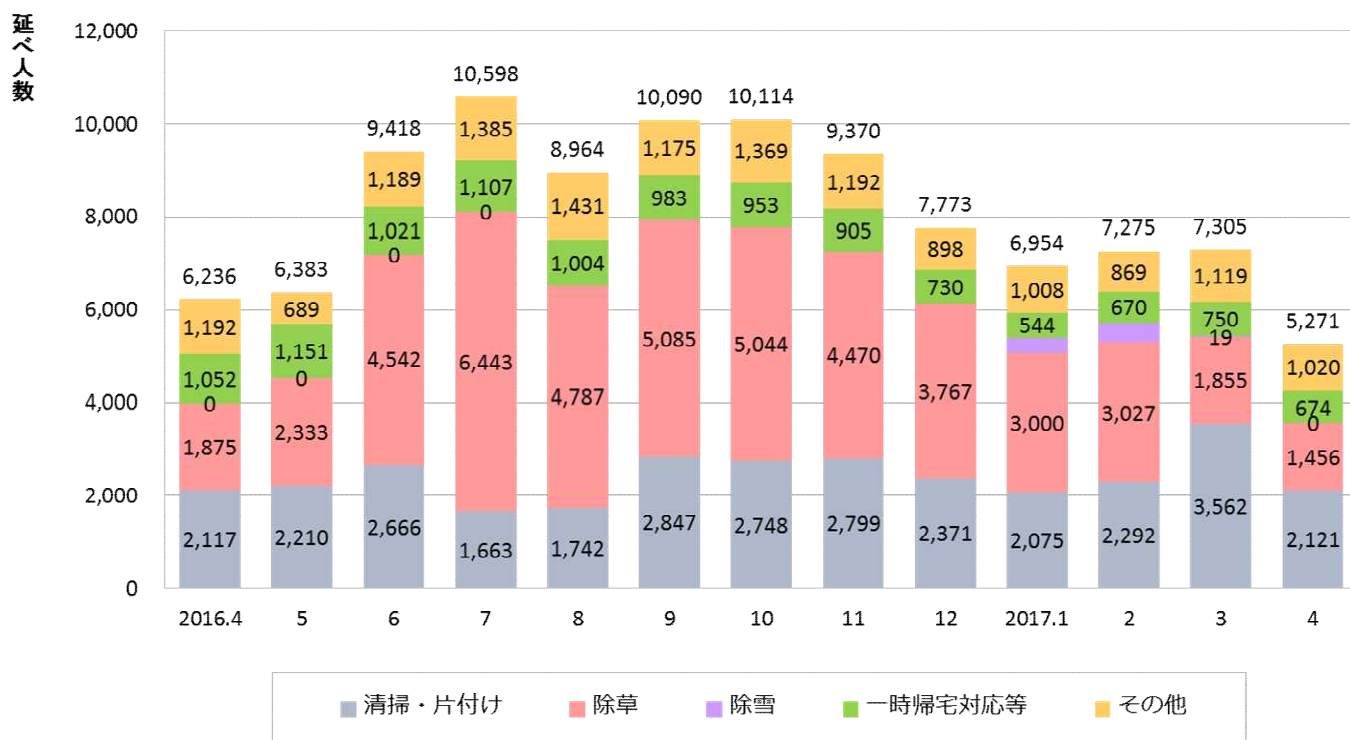
■ 現在までの主な取り組み

- 4月は、清掃・片づけならびに除草活動を中心に実施。活動実績は延べ5,271人
- 地域に密着した取り組みとして「山木屋小・中学校における荷物の搬出」および「川内の郷かえるマラソンの運営補助」を実施

[4月の活動実績]

活動内容	延べ人数
清掃・片付け（屋内清掃・大型家財搬出等）	2,121人
除草・除雪（町道・住宅進入路・公共施設等）	1,456人
一時帰宅対応等	674人
その他（イベント運営補助・介護研修会 他）	1,020人
<b>4月の活動実績合計</b>	<b>5,271人</b>
<b>復興本社設立(2013年1月)からの累計</b>	<b>342,966人</b>

[月別・活動内容別実績の推移] 2016年4月～2017年4月



## 川俣町立 山木屋小・中学校における荷物の搬出

**実施時期** 2017年4月24日、26日、27日、5月1日、18日

**実施場所** 川俣町立 山木屋小・中学校

**実施人数** 社員 延べ約40人

**実施内容** 川俣町からの要請により、来春開校予定の小中一貫校の整備工事開始を前に、山木屋小学校および中学校から荷物を搬出

### <活動の様子>



小学校の全景[2017年4月26日撮影]



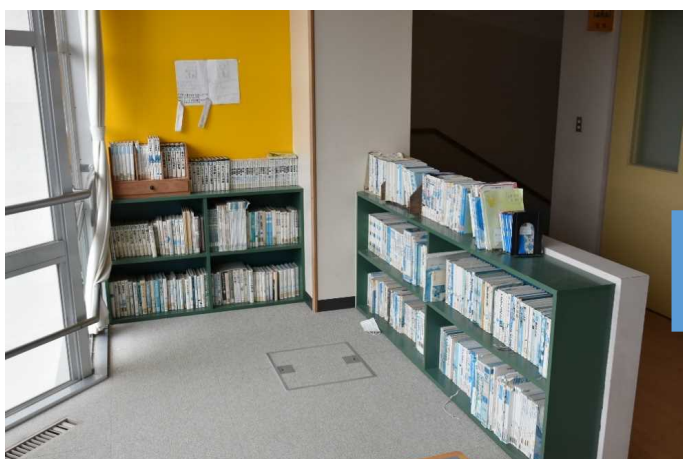
搬出作業の様子[2017年4月26日撮影]



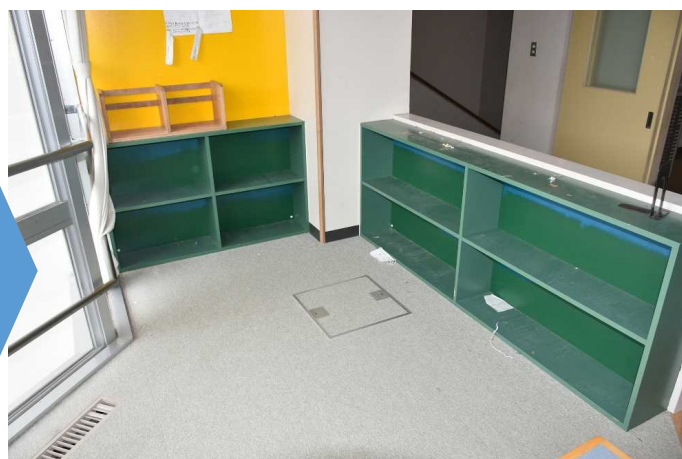
搬出作業の様子[2017年4月26日撮影]



作業後、学校長によるご挨拶[2017年4月26日撮影]



搬出前の様子[2017年4月26日撮影]



搬出後の様子 [2017年4月26日撮影]

## 「川内の郷かえるマラソン」の運営補助

実施時期 2017年4月23日、28日、30日

実施場所 川内村

実施人数 社員 延べ43人

実施内容 川内村からの要請により、「第2回川内の郷かえるマラソン」における駐車場の準備作業および当日の車両誘導等の運営を補助

### <活動の様子>



打合せの様子 [2017年4月30日撮影]



駐車場準備の様子 [2017年4月30日撮影]



車両誘導の様子 [2017年4月30日撮影]



当日の様子 [2017年4月30日撮影]



ハーフマラソンスタートの様子 [2017年4月30日撮影]



復興本社代表石崎も参加 [2017年4月30日撮影]